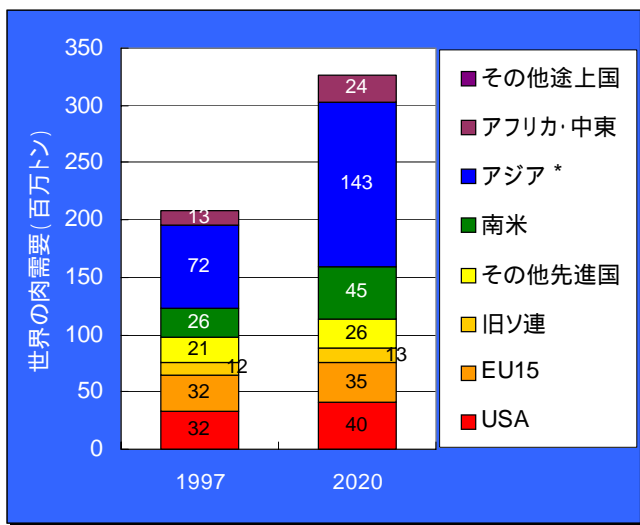
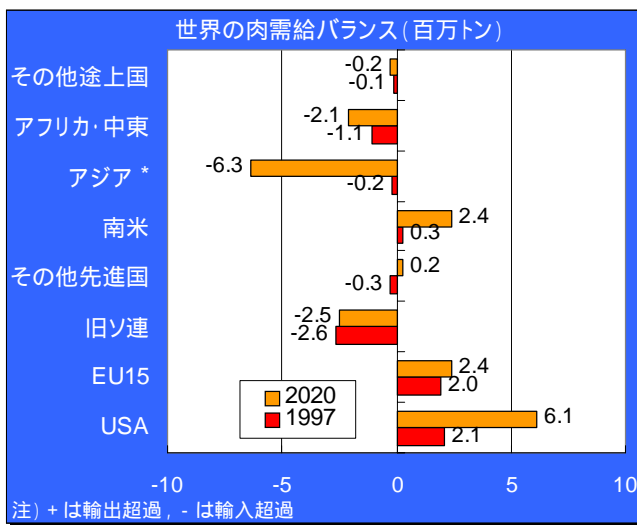


肉

途上国では人口増、経済成長に伴い肉需要が急増し、2020年には現在の2倍程度となる。アジア需要を賄うために米、欧、南米の輸出圧力が高まる。



*「アジア」には中東の需要量は含まれていない。



注) + は輸出超過, - は輸入超過

図. 世界の肉消費量

図. 世界の肉需給バランス

出典: IFPRI(2001): 2020Global Food Outlookより作成

肥料

先進国における窒素肥料やリン酸肥料の消費量は1980年代後半が減少している(注)。しかし、途上国における肥料の消費は堅調に増加し続けている。水質汚濁など、環境への圧力が懸念される。

注) OECD諸国における肥料の消費量は横ばいに推移している。先進国での減少は東欧や旧ソ連の減少によるものである。

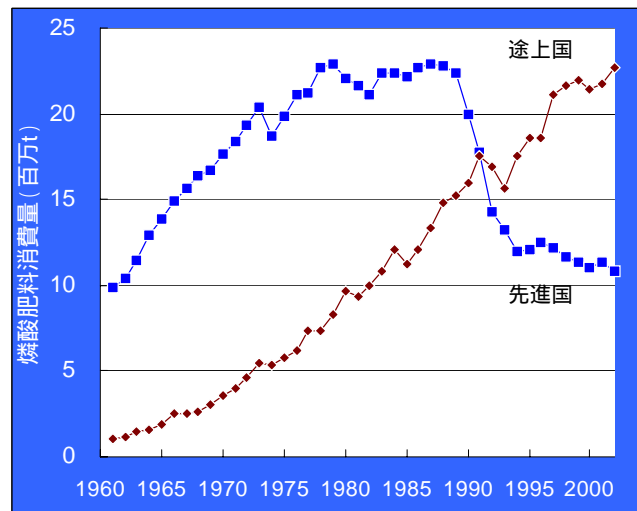
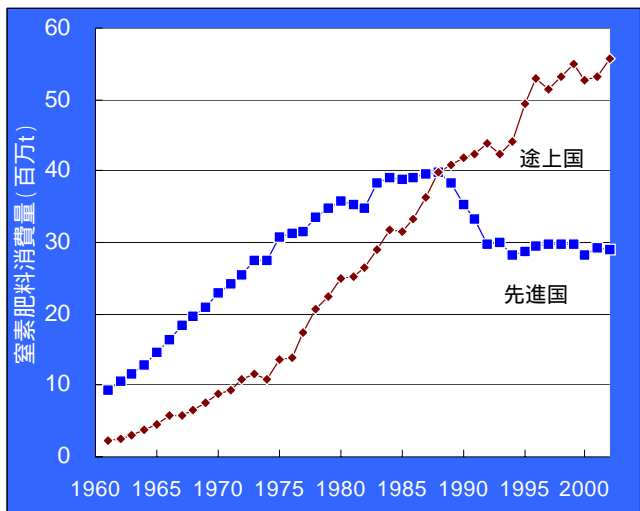


図. 世界の肥料消費量

出典: FAO: FAOSTATより作成

漁獲高(1)

世界の漁獲高は1980年代後半にピークを迎えている。現状の漁獲高は、海域によって大きな差があるが、ピーク時と比べて0～50%減少している。

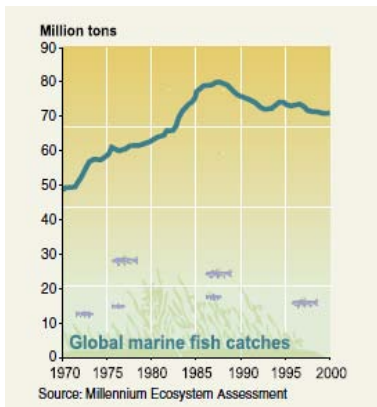


図. 世界の漁獲高

出典: MA, 2005. Ecosystems and Human Well-being: Biodiversity Synthesis

図. 海域別漁獲の推移(1984-98年)

出典: Robert Engelman, Richard P. Cincotta, Bonnie Dye, Tom Gardner-Outlaw, Jennifer Wisniewski "People in the Balance", Population Action International

漁獲高(2)

多くの海域は過剰に収穫されている。漁師の数は1970年から1990年にかけて倍増したが、逆に1人当たり漁獲量は30%減少した。

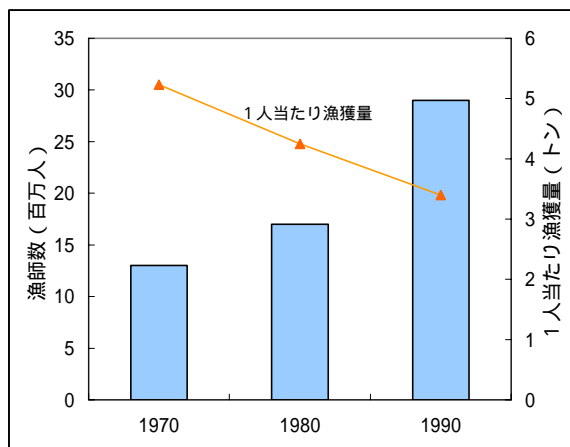


図. 漁師の数と1人当たり漁獲量

出典: World agriculture towards 2015/30, FAOより作成